

江東未来会議
第5分科会（行財政運営・協働）
第3回 議事概要

日時：平成19年11月9日（金）19:00～21:10

場所：文化センター2階 旧区政PRコーナー

参加人数：15人

1. 開会

2. 本日のワークショップの進め方について

○田中コーディネーター

資料「討議の流れ」を用い説明

- ・本日は大きく分けて2つの討議を予定している。まず討議1として、前回の討議結果とそれを踏まえ事務局が作成した将来像3案について確認をする。次に討議2として、確認した各将来像で新しいグループを構成し、課題や解決策などの議論を深めていく。
- ・討議の際の留意点であるが、討議の内容は付せんに記入して残していかないと記録されず、今後の討議に反映されていないので、きちんと付せんに記入していただきたい。
- ・本日は各グループにおいて議論が拡散しないよう議論をリードする人、議論の内容を付せんに記入していく人を自主的に決めた上で、グループ討議を進めていくこととする。
- ・それでは討議1の前に事務局より本日の配付資料について説明をする。

○事務局

- ・事務局で作成した将来像3案は、前回の各グループの発表で提示された6つの重点テーマを類似性に着目して、1つ目のグループとして「財政（予算・税の使い方）」、2つ目のグループとして「本気になってくれる行政、モットーとして」と「業務の民営化」と「国・自治体との協働」、3つ目のグループとして「多様な参画の推進」と「区議会運営ちゃんとやってほしい」に分類した。
- ・その上で、それぞれ3つのグループの重点テーマに類似するその他の付せんに追加し、新たにグルーピングしてテーマを追加していった結果、資料にある将来像1～3を案として設定したものである。

3. ワークショップ

（1）めざすべき将来像の検討（討議1）

○田中コーディネーター

- ・それでは前回の討議結果の確認と、本日提示した事務局作成の将来像案について討議し

ていただき、今後議論していく将来像を確定したい。現在のテーブル毎に討議1をお願いしたい。

【グループごとに討議1を実施】

○参加者

・資料の4枚目に「「小浅」の名を冠した・・・」という付せんが記されているが、これは映画監督の小津安二郎さんの「小津」ではないか。

○事務局

・ご指摘の通り、修正する。

○田中コーディネーター

・それでは各グループでどのような意見が交わされたのか発表していただきたい。個人としての意見でも結構なので全体で情報を共有したい。

○参加者

・事務局の将来像案設定の意図を考えてみたが、将来像1は現在存在している区の仕組みを変えていくという観点、将来像2は公共サービスの充実に向けて区から区民に働きかけていくという観点、将来像3は逆に現在区政に携わっていない人の意見をどう取り上げるかという観点で整理されていると読みとった。

○参加者

・将来像のテーマの設定はこれでよいと思うが、ある将来像が行政のことばかりを検討するのではなく、すべての将来像において、区・事業者・区民の役割分担が示されていくべきである。

○参加者

・事務局の将来像案1～3を自分なりに解釈して、選択したいテーマを検討してみた。将来像1は区の財政がいかに使われることが望ましいか、将来像2は区がどのような組織であるべきか、そこに区民がどう関わっていくのか、将来像3は参画というテーマの中で区民と議会とがどのような関係性になっていけばよいのかということであると思う。
・私としては将来像2で、行政がどのような組織になっていくことが望ましいのか議論していきたいと思っている。

○参加者

・将来像がどれもまだ具体的でなく漠然としている感じなのでなかなか選びにくい。

○田中コーディネーター

・本日、3グループに分かれた後、各グループで重点的に取り扱っていくテーマを選定していくので、現在掲げられているテーマすべてを議論するわけではなく、特定のテーマについて重点的に議論していければと思っている。

○参加者

・グループでは議論していないが、単純におもしろそうということであれば、将来像2が

- 最もよいが、どこにおいても最終的に目指すところは一緒だと思うのでどこでもよい。
- ・将来像2がよさそうだったのは、区役所がもう少し親切であってもよいと日頃思っているのも最も関心があるからである。

○参加者

- ・将来像の見出しが抽象的すぎるのももう少しわかりやすい言葉で示していただけるとよいと思う。

○田中コーディネーター

- ・将来像の見出しについては仮の設定であるので、ここはあまり気にせず、討議の中で将来像はもっと絞られていくので、見出しは改めて各グループで設定していただくものである。
- ・それでは各々、今後議論していきたいテーマを選択していただきたい。

【将来像1を4名、将来像2を5名、将来像3を5名が選択し、グループを編成した】

(2) めざすべき将来像ごとの課題に関するグループ討議（討議2）

○田中コーディネーター

- ・ここからはグループ別に各将来像を読み込んでもらい、グループの中でどこを重点的に取り扱っていくのか、そのあと抽出した重点テーマの課題を整理していただきたい。次回はその続きで解決策、アイデア事業などの検討を進めていきたいと思っている。

【グループ別に討議】

討議結果は別紙（「第3回 江東区グループ討議記録～行財政・協働～」）参照

(3) 発表

○田中コーディネーター

- ・それでは本日の討議結果を報告していただきたい。

○Bグループ

- ・将来像2を選んだグループである。まず自己紹介を兼ねて今後の進め方を決めた。進め方としてはまず理想像を中心に議論し、それに向けて何をしていけばよいのかを考えていくこととした。
- ・行政の理想について、まず個々が思うモノを付せんに記入した。その中には課題を含めた理想も出てきたが、これらをうまくシンプルにまとめたのが「わかりやすい行政」という付せんであった。
- ・次回については逆に「わかりにくい行政とは」ということを具体的にして、そのわかりにくさをわかりやすくするためにはどういうアプローチが有効なのかを議論のテーマに

したいと思っている。

○Cグループ

- ・将来像3は、大前提としてどこに絞り込むかを検討した。「多様な参画」ということで区民・事業者・行政の三位がどう区政に参画していくかをテーマに絞ることとした。
- ・もう1つは、区民の声が通りやすい区政にしていくために、どういう仕組みづくりが有効なのかを検討していきたいと思っている。それから区の行政施設を区民が運営するなど、区役所だけでなく区民が責任を持って参画してよりよい施設運営をしていくことができるのかということについても考えていきたい。最後に審議会に対しても参画していきこうという意見があった。

○Aグループ

- ・区の事業や予算の評価システムについて深堀していきたいと思っている。どこをポイントにしていくかは決めていない。現行の評価システムが存在しているものの、その存在自体があまり知られていないこともあるが、その自己評価が十分機能しているのかなどを分析して、問題点を洗い出して、新システムの提案をするというPDCAを回していくことになると思う。その中で全体を捉えていくのか、あるいは職員の自己評価だけでよいのか、など議論のテーマは絞り切れていない。
- ・その他には区民が評価委員に参画していく一般委員システムなども検討していきたいと思っている。一般委員システムとは各地域から持ち回りで、議決権がなくとも参画していくことのできる仕組みを想定している。
- ・また、前長野県知事が行ったガラス張りの執務室のような形で、セキュリティの問題などもあるかもしれないが、立ち寄りながら議会を気軽に傍聴できるような仕組みがあればよいと思う。さらに地域へ出張議会ではないが、各地域で議会がどのようなことを決めているのかを報告するような機会があってもよいと思っている。

【質疑応答・討議】

○参加者

- ・Aグループにおいて「評価」というのは何の評価をするのか限定して議論したのか。

○Aグループ発表者

- ・現在、区では事業全体について評価システムを導入している状況である。

○参加者

- ・つまり、予算化された事業1つ1つについての評価を議論したのか。

○田中コーディネーター

- ・おそらく評価システムのあり方自体を議論していたのだと思う。
- ・3グループの討議結果をみると「行政のわかりやすさ」「参画の方法」「行政のチェック」ということでおもしろいテーマが出揃ったと思っている。

4. その他（次回の日程等）

○田中コーディネーター

- ・今後の進め方について決めていきたい。

○事務局

- ・予定されている7回の会議のうち、本日で3回目が終了したが、当初4回目には施設見学会が予定されていた。実際、これを実施するかどうか、また、いつ実施するのか、第4回、第5回は分科会の裁量で進め方を決められるので、これを決めていきたい。
- ・とりあえず、次回は施設見学会でなく討議を進めた方がよいと思う人は挙手をいただきたい。（挙手多数により、次回も討議を行うことを決定。）
- ・次に第5回で施設見学会を実施するかどうかについて意見を伺いたい。

○参加者

- ・アイデアであるが、「見学会」ということであるが、例えば理想的な区政やまちづくりを進めている事例を聞きに行くというようなことは実施できるのか。例えば、ブラジルのクリチバ市でユニバーサル都市デザインがなされているというので、こういう事例を先生の講演などにより勉強し、参考にしていくというのはどうか。

○参加者

- ・「見学会」をやるとしても、例えば「区議会」を見学したとしてもあの遠い場所から傍聴をただけでは区議会のことを討議していけるとは思わない。また、区内の施設を縦覧ただけではまず討議の役には立たないと思う。
- ・「見学会」をやるとかは、現場を見に行かなければこれ以上討議ができないという状況になった場合に検討すればよいのではないか。

○事務局

- ・それでは第4回は引き続き討議を行い、第5回については第4回が終了した段階で改めて検討することとしたい。
- ・それでは第4回の日程調整を行う。（日程調整の結果、第4回は11月29日（木）19:00～21:00に開催することとした。）
- ・本日欠席の方が次回参加される場合、いずれかのグループに参加いただくので新しいメンバーを加え、うまく議論を進めていっていただきたい。
- ・第5回到討議以外のことを実施する場合には、平日の夜間か休日の日中になると思うが平日の夜間の場合には12月18日（火）を以前の日程調整の際に第1候補日としてあるので予定の確保をお願いしたい。

（以上）